青峰学園進路だより

令和５年　１２月８日
東京都立青峰学園校長
吉池 久
進路指導部 文責 遠藤　遥

空気がかなり冷たくなり、寒さが深まる季節となりました。４月からの学校生活を通して、児童・生徒たちは、皆で協力して１つのことを成し遂げる難しさや達成感を味わいました。フェスタでも一人一人の力を十分に発揮して、お客様をおもてなししました。

また、様々な行事も行われている中、就業技術科１年生は、インターシップ真っ只中、就業技術科２年生、３年生は、多くの生徒が２回目、３回目の現場実習がスタートし、一人一人目標や課題をもって学校生活を送ることができています。肢体不自由教育部門高等部の１年生も、将来に向けてインターシップに取り組んでいます。

さて、今年度の進路だより第２号は、卒業後の社会生活に向けて、第二回進路学習会で得た情報を一部お伝えします。

１０月２６日（木）保護者向け進路学習会の報告

社会福祉法人創隣会　社会福祉法人　公認心理士　大沼健司様より「卒業後の社会生活」について御講演をいただきました。本校の心理カウンセラーとしても御活躍していただいています。

今回は、「卒業後の社会生活、卒業後の支援機関等」について以下に、御紹介いたします。

◆ ◆

卒業生の離職の理由は、「仕事が合わなかった」「人間関係が悪かった」「ノルマや責任が重すぎた」「勤務条件が合わなかった」が理由としてありますが、その中でも1番多かった理由が「人間関係が悪かった」という理由です。

困った時に、「助けて」と言える環境、相談する機関があることがとても大切になってきます。

また、学校在籍のうちから様々な機関と関わりつながっていると、卒業後もすぐに困った時に相談でき安心して働いていくことができます。　以下に卒業後の支援機関についてご紹介します。

◆ ◆

卒業後の支援機関について

就労支援センター

①就労に関わる支援

職業相談、就職準備支援、職場開拓支援、現場実習支援、職能評価支援、職場定着支援、ジョブコーチ支援、離職時の調整および離職後の支援をしてくれます。

②就労に関わる生活面の支援

日常生活、健康管理、金銭管理などの日常生活の助言、職業生活支援、社会生活支援、将来設計、自己決定支援をしてくれます。

③その他の支援

インターネットを活用した就労に関する情報収集および提供、関連機関、協力機関とのネットワーク形成、雇

用促進に関わるコーディネートおよび啓発活動をしてくれます。

ハローワーク

障害者が就労するための部署（障害者専門窓口）があります。
あらゆる障害の支援に特化した支援員がいます。
面談を通じて、個々の特性に応じて、データを残し、障害者雇用を行ってくれる企業を紹介してくれます。
流れとして、相談窓口での相談→求人紹介→応募→面談同行求職者登録は、在学中3年生になると学校の授業の中で、行います。
求職者登録を行っていると、自分の適性により自分の就職先を検索しやすくなります。
ハローワークは、障害者職業センターが行う「ジョブコーチ支援」への案内も行ってくれるところです。

就労移行支援事業所

学校のように通いながら就職に向けたサポートを受けることができる場所です。
個々の支援計画に沿って、他の利用者と一緒に就職に役立つ知識や必要なスキルを学ぶこと、就職の準備をすること、就労支援員に就職や体調に関する相談することなど必要なサポートを受けることができます。

地域障害者職業センター

障害者に対する専門的な職業リハビリ―ステーションサービス、事業主に対する障害者の雇用管理に関する相談・援助・地域の関係機関に対する助言・援助を実施している場所です。

職場適応援助者（ジョブコーチ支援事業）

職場適応に課題がある場合に、職場にジョブコーチが出向いて障害特性を踏まえた専門的な支援を行い職場適応を図ることを行ってくれます。

グループホーム

障害のある方が必要な支援やサポートを受けながら、共同生活を行うことができる住まいのことです。
食事・入浴、排泄等の準備や手伝い、お金の管理等をサポートしてくれるスタッフや日常生活を送る上での身の周りの介助サポートを行う生活支援員がいるところがあります。

通勤寮

寮生活を通して、就労の安定、周りの人との関係や休みの日の使い方、日頃の自分の生活、健康管理に関することなど地域で暮らす力が身に付くように自立に必要な援助を本人にわかるようにアドバイスをし、時には一緒に行いながら社会的な自立を図ることを目指しているところです。

いきなり、一人暮らしをするよりも通勤寮やグループホームで一人暮らしをする上でのスキル（金銭管理の仕方や日常生活で必要なこと）を学びながら徐々に一人立ちしていく方が安心ですね！

＜卒業生を支援する会＞

在学中は保護者学習会や保護者会等で様々な情報を得ることができましたが、卒業後はそのような機会も少なくなります。卒業生を支援する会では学習会や座談会を通じて、お互いの交流を深め情報交換等を行っています。

令和５年度活動内容

５月１３日（土）	成人を祝う会（就技９期・肢体１１期）参画
７月１３日（木）	座談会
９月３０日（土）	成人を祝う会（就技１０期・肢体１２期）参画
１０月６日（金）	年金学習会
１月２７日（土）	学習会（お金に関すること）
３月２３日（土）	成人を祝う会（就技１１期）参画

卒業してからも、つながれる場所があることは、本人、保護者の方も安心しましすね。

☆入会するには・・・？☆

①２月に入会下旬に入会案内のお便りを配布

②申込書を代表に郵送

③指定口座に会費 2,000 円（３年分）を振込み